

刈谷市のボランティア・ウォッキングな情報マガジン

# ぼらっち。

2025  
夏

Vol. 92



今回のクローズアップは、「刈谷防災ボランティア」さんです。

刈谷防災ボランティアは、地域防災に取り組んでいる団体です。活動は、会員相互の連携と親睦を図り、防災技術の習得に努め、防災分野において地域に貢献することを目指しています。

平常時には地域住民への防災・減災の啓発／啓蒙、災害時には災害ボランティアセンターの支援をミッションとしています。

★問合せ先★

代表：金丸 光邦

連絡先：刈谷市民ボランティア活動センター

TEL： 0566-62-8231

FAX： 0566-62-8232

E-mail: kcv109box@katch.ne.jp



市民活動団体の今を紹介する

## クローズUP No.030

# 刈谷防災ボランティア

阪神淡路大震災、東海豪雨災害を機に、平成13年に当会は設立されました。会員は、自主防災会、民生・児童委員、赤十字、シルバーなどで活動している人、会社員、自営業、主婦・主夫などさまざままで、現在の会員数は54名、そのうち防災士は33名です。

災害時に地域の皆様が困らないようにと、日ごろは、事前の備えと発災時の対応などを勉強し、それをお伝えする活動を行っています。

昨年および今年と、能登半島地震被災地でもボランティア活動を行ってきました。奥能登は、まだまだ復興途中ですので、皆さまのさらなる支援が必要です。

「公助」には限界がありますので、自分の命は自分で守る「自助」と、自分たちの町は自分たちで守る「共助」を、被災地支援を通して改めて学びました。

当会では、防災について一緒に学びたい方、地域防災の推進に貢献したい方を歓迎します。

### 行ってきました! スタッフレポート

6月2日(月)に「高齢者交流プラザひまわり」で開催された防災講座に行ってきました。

対象は「あつまりん」のメンバーで、9名の方が参加されていました。今回は2回目の講座でテーマは「災害時のトイレはどうする!」でした。

刈谷防災ボランティアからは代表の金丸さん、鈴木さん、深谷さんが講師として参加し、災害時に重要な「T・K・B(トイレ・キッチン・ベッド)」のお話に始まり、災害関連死につながるトイレの問題(我慢してしまう)を詳しく説明されました。講師の鈴木さんから、災害時に準備する備品の実物紹介や、便器にセットするビニール袋や汚物を回収する袋の使い方の説明もありました。実際に、凝固剤を使っておしつこが固まる様子の実験を行い、分かりやすく説明されました。(くぼっち)



↑石川県穴水町での炊き出しのようす



↑刈谷市民交流センターの前でテント張り



# センターでのできごと



## 啓発イベント 2025年5月25日（日） あつたかハートふれあいまつり

今回から「ふれあいの里夏まつり」と「あつたかハートまつり」が共同で開催することになり、あつたかゾーン、ハートゾーン、ふれあいゾーンと3会場に分かれ、どの会場も多くの市民で賑わいました（5,300人）。

センターはあつたかゾーンに相談所を開設、来場者にセンターの紹介とカリや夢ファンドを知つていただく良い機会となりました。

募金額は10,705円（23年比1.8倍）集まりました。大変ありがとうございました。



## 車座集会 2025年6月8日（日） がんでも、ステージ4でも、頑張って生きる！



大島直也さんを講師にお迎えし、お話を伺いました。参加人数は15人でした。大島さんは在宅鍼灸師としての仕事を通じ、がん患者とつながる中で得た経験を伝えていきたいと、がん教育の活動をしてみえます。

大島さんから「生きること、楽しむこと、やりたいことは遠慮なく欲張って生きる！」ことを伝えていただきました。

皆さん、今・これから、いろいろな状況があると思いますが、この想いを取り入れてみてはいかがでしょうか！ Be greedy（よくばって）<アンケートから>

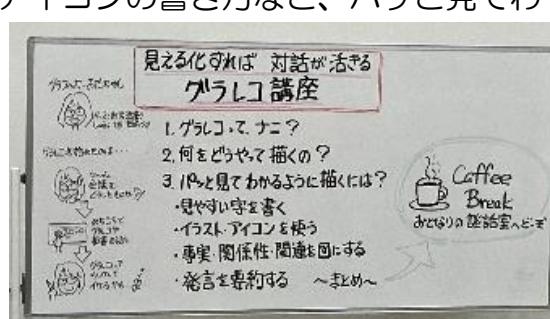
- ・大島先生の生き方に感動しました。笑顔がいいですネ。
- ・がんの発見～対応まで、どう付き合っていけばいいのかわかった。
- ・やりたいことをやることに背中を押された感じです。

## スキルアップ講座 2025年6月29日（日） 見える化すれば対話が活ける グラレコ講座

グラフィッカーおだちゃん（小田早樹子さん）をお迎えし、グラレコ講座を開催しました。参加者は11名でした。

グラレコとは、会議の内容を絵や図形を用いて見える化し、わかりやすくまとめる手法です。ペンの持ち方からアイコンの書き方など、パッと見てわかるように描くコツを教えていただきました。

最初は戸惑っていた参加者のみなさんも、次第にコツをつかみ、お互いの描いたイラストを見せ合って笑顔がこぼれていきました。“前の前で描く”というハードルが少し下がった気がした講座でした。



## ワクチン2000人分！達成しました！！

刈谷市民ボランティア活動センターでは2009年からペットボトルキャップの回収を行っています。

令和7年7月現在、収集累計は1,704,248個、ワクチン2,003人分になりました。みなさまご協力ありがとうございました。

回収したキャップはフジイ化工株式会社でリサイクルされ、キロ数に応じてJCV（世界の子どもにワクチンを日本委員会）に寄付しています。この活動はミャンマー他の国の子どもたちにワクチンを届ける支援につながっています。センターでは今後も継続して収集活動を行います。

引き続きご協力をお願いします。

(なお)



## スタンプラリーはじめました！

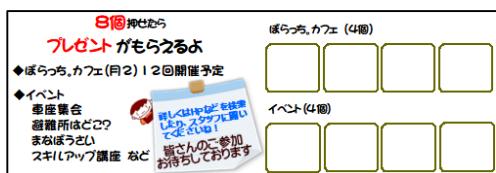
刈谷市民ボランティア活動センター



期間：2025年6月1日～2026年2月28日

「ぼらっち。カフェ」や「イベント」に参加してスタンプを8個集めると・・・  
うれしいプレゼントがもらえるチャンス！  
スタンプラリーを楽しみながら、  
センターの魅力を再発見してみませんか？

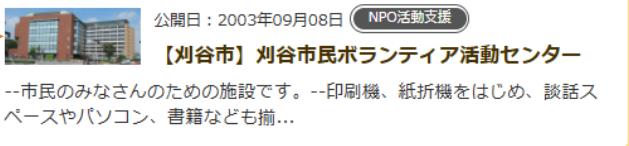
詳しくはHPまたはスタッフに  
聞いてくださいね。どなたでも  
参加できます。みなさんのご参  
加をお待ちしています。



## つながるねット団体情報

団体情報に写真の掲載をお願いします。団体情報の【マイメディアトップページ編集】サムネイルで写真を掲載することができます。  
(掲載のない団体様は“準備中”と表示されています)  
ご不明な点はセンターにお問い合わせください。

ここ



## ボランティア日記byくみ



刈谷市民ボランティア活動センター情報誌

# ぼらっち。

■発行 刈谷市民ボランティア活動センター(109BOX)  
(指定管理者：認定特定非営利活動法人 愛知ネット)

■住所/〒448-0842 刈谷市東陽町1-32-2 刈谷市民交流センター1階  
TEL/0566-62-8231 FAX/0566-62-8232 E-mail/kcv109box@katch.ne.jp  
開館時間/9:00~21:00  
休館日/月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）、12月29日~1月3日  
刈谷市民ボランティア活動センターHP <https://www.kcv109box.jp>  
かりや衣浦つながるねット <https://tsunagaru.genki365.net/>



センターHP